

「阿久根中学校の阿久根ハンヤ節踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	阿久根市立阿久根中学校
2. 学年・人数	1年生 79人 2年生 15人 3年生 8人 計 102人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和7年7月16日 総合的な学習の時間（本校体育館） (2) 発表の日時・場所 令和7年7月26日 阿久根みどこい夏祭り（阿久根市中央公園付近）
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 阿久根ハンヤ節踊り（あくねはんやぶしおどり） (2) 由来 夏祭りやひな女祭りなど阿久根各所で踊られる「ハンヤ節踊り」で歌われるハンヤ節は、阿久根を代表する民謡である。もともとは奄美の「六調（ろくちょう）」をもとに、船乗りたちにより阿久根・牛深に運ばれて「ハンヤ節」を形づくり、船乗りにより全国各所で地域によって形を変え広がったと考えられている。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	本校では、地域の日本舞踊藤間流師範を講師に招聘し、阿久根ハンヤ節踊りとおはら節踊りの練習を教育課程（1年生の総合的な学習の時間）に位置付け取り組んでいる。コロナ以前は、体育大会で発表していたが、現在は体育大会の規模縮小もあり、部活動の生徒とその保護者、PTA保体部員（今年度は約70人の参加）を中心に阿久根みどこい夏祭りのハンヤ総踊りに出場し、その成果を発表している。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	  <p>1年生の練習の様子</p> <p>阿久根みどこい夏祭りでの発表の様子</p>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>【生徒】 暑い中であつたが、部活動の先輩や後輩、保護者の方と阿久根みどこい夏祭りのハンヤ総踊りに参加し、みんなで楽しく踊ることができた。沿道の方からも声援をもらってうれしかった。郷土の伝統芸能を今後も大切にして、自分たちができる伝承活動をしていきたいと思った。</p> <p>【教職員】 発表には、部活動の生徒や保護者を中心に約70名の参加があり、郷土芸能であるハンヤ節踊りを通して、生まれ育っている地域への誇りや愛着を子どもに育みたいという親の願いがあるように思われる。</p> <p>【保存会から】 1年生は楽しそうに阿久根ハンヤ節踊りの練習に取り組んでくれて、教えていて非常に気持ち良かった。今後も地域の伝統芸能の一つである阿久根ハンヤ節踊りを継承していくために学校の教育活動に協力をしていきたい。</p>